

# 五峡の子

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

学校だより 5月号  
荒川区立第五峡田小学校  
校長 出井 玲子  
令和3年4月30日(金)  
TEL 3892-9515  
五峡小ホームページ

## 「学びに向かう力」

校長 出井 玲子



4月20日(火)に「1年生を迎える会」を行いました。オンラインでの会でしたが、2年生～6年生が学校生活の様子や五峡小の特徴・校歌などを工夫して伝えました。クイズあり、音楽ありで1年生も集中して見入っていました。これで6学年一体となって五峡小がスタートしました。

感染症予防の観点から、従来の6年生が1年生のお世話をする活動など、異学年交流は十分にはできていないのですが、例えば、1年生が昼休みに校庭で遊んでいる間に、6年生が1年生の教室を掃除するなど、接触をせずに工夫してお世話をしています。昼休み後、戻ってきた1年生は、きれいになった教室に驚き、6年生への感謝の思いを満面の笑顔で示していました。

さて、本校の学習面の取組について少しお話しさせていただきます。昨年度から全面実施となった学習指導要領では、育てるべき資質・能力を3つの柱で示しています。その中の一つに「学びに向かう力」があります。学習への関心や意欲とされてきた部分でもあり、他の2つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を動かすためのエネルギーのような大切な存在であると考えます。このエネルギーは、やる気スイッチをポンと押せば貯まるという訳にはいきませんが、本校では、学びを楽しむ思考ツールを取り入れるなどして育成を図って参ります。また、「児童が自らの学習状況を把握し、見通しをもつこと」が「学びに向かう力」の育成に寄与するとされています。見通しがもてることで、安心して学習に取り組めたり、次の学習目標が立てやすくなったりするからです。

先に述べた、「1年生を迎える会」2年生～6年生が1年生に学校生活の様子を伝えたことは教科学習の場面ではありませんが、1年生が少しでも早く学校に慣れ、安心して学校生活を送れるようになり、見通しをもつ力にもつながるとよいと思います。

本格的な学校生活がスタートしたばかりで「緊急事態宣言」が発令されました。1学期の宿泊行事が2学期に延期(予定)するなど急な変更でご心配をおかけしますが、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。引き続き安全対策を徹底して参ります。

先日の全校朝会で、「身近な春探し」について話しました。学校の周辺のお家や道端に私が思っていた以上に春の草花があふれていることに驚き、改めて町屋は緑を大切にしている地域であることを実感しました。ゴールデンウィークに保護者の皆様はお子さんと一緒に「身近な春探し」をしてみたいはいかがでしょうか。